

修士論文（要旨）

2009年1月

中学校の過去分詞形の指導に関する研究

—中日の英語教科書における取り扱いの比較を中心に—

指導 森住衛 教授

国際学研究科

言語教育専攻

207J4015

呼格吉楽

目次

序論

1 テーマ設定の理由	1
2 研究の目的	2
3 研究方法	3
第 I 章 過去分詞形の種類と導入の時期	5
第 1 節 過去分詞形の種類	5
第 2 節 過去分詞形の導入の時期	8
第 II 章 過去分詞形の導入の順序	10
第 1 節 受動態の導入	10
第 2 節 完了形の導入	11
第 3 節 形容詞の導入	13
第 III 章 過去分詞形に関する指導法	15
第 1 節 取り上げ方	15
1 文法の表示と説明	15
2 各課の構成の特徴	18
第 2 節 文と練習問題の分量	22
1 中国・日本の比較	22
2 アンケート分析	24
結論	26
1 本研究のまとめ	26
2 英語教科書の改善のための提案	27
3 本研究の応用性	28
4 今後の課題	28
注	30
参考文献	31
謝辞	34
資料	- 1 -

要旨

本研究は、中国と日本（以下、中日とする）の中学校英語教科書が扱っている過去分詞形に関する指導法の分析と考察である。

この研究テーマを設定した理由は以下の3つである。まず、なぜ中学校を研究対象とするかであるが、中国と日本において、中学校は本格的に外国語（英語）の文法を導入する段階である。この時期の文法の指導法は、生徒の今後の英語に対する学習効果に直接影響し、生徒の英語に対する姿勢を決定づけるので、非常に大事である。

次に、過去分詞形は中日の中学校の生徒にとって学習の難点となっている。例えば、有馬(1973)は「過去分詞形は中学の各学年にまたがって、しかも他の文法事項とからんで、その形態だけではなく、用法まで、かなり複雑な文法事項となっている」と述べている。また、湯(2005)も「多くの中国の生徒は過去分詞形の内容はよくわかるが、実際の使用においてはよく間違える」と過去分詞形の学習と教育における難しさを指摘している。その他にも、小西(1971)と李(2006)などが過去分詞はかなり複雑な文法事項であることを述べている。

最後に、なぜ教科書に注目するかであるが、教科書は学校教育の中で、教育課程の構成に応じて組織配列された教科の主たる教材として位置づけられ、児童・生徒が学習を進める上で重要な役割を果たしているからである。

本論文は、中日両国の中学校の英語教科書に取り上げられている過去分詞形の種類や導入の時期・導入の順序・そして指導法を分析・考察し、中日の教科書の改善のために若干の提案を行うことを目的とする。

上記の目的を達成するための研究方法として以下の2つを行う。

1) 日本の2004年版の *Columbus21*、*New Crown*、*New Horizon*、*One World*、*Sunshine*、*Total English* と中国の2005年版の *English*、*Go For It* を分析して、過去分詞形に関する事項を比較分析する。

2) 中国と日本の中学校の英語教師11名ずつを対象として、中日の中学校英語教科書の過去分詞形の指導法に関してアンケートを行う。

論文全体の構成は、序論・本論・結論からなり、本論は3章立てである。序論では、本研究のテーマ設定の理由、目的と研究方法に言及する。本論の第1章では両国の教科書の中で扱っている過去分詞形の種類に関して、あるいは導入されている過去分詞形の働きを概観し、それらの導入の時期を調査する。第2章では、両国の教科書の中の過去分詞形に関する事項の導入の順序を比較分析し、そのような導入順序をとる原因を探る。第3章では、教科書の中の過去分詞形の取り上げ方と各課の中の本文と練習問題の配列を調査することを通じて、過去分詞形を具体的にどのように説明しているかを分析し、それぞれの特徴を見つける。結論では、中日両国の中学校の英語教師たちに行ったアンケート調査を基として、両国の中学校英語教科書の改善のための提案をし、本研究のまとめ、本研究の応用性と今後の課題に関して述べる。

参考文献

- 有馬敏行 (1973) 「昔の英語教科書」『英語指導の研究とその実践』 葵書房 pp.48-49
- (1973) 「検定教科書」『英語指導の研究とその実践』 葵書房 pp.51-61
- (1973) 「導入の技術—文型・文法事項の導入」『英語指導の研究とその実践』 葵書房 pp.108-121
- (1973) 「文法の指導」『英語指導の研究とその実践』 葵書房 pp.193-216
- 伊藤健三 (1976) 「文法・文型の指導」『新しい英語教育—英語の授業』 大修館書店 pp.182-199
- (1978) 『英語指導ハンドブック 1 〈導入編〉』 大修館書店
- 奥総一郎 「分詞の導入」『現代英語教育』 研究社 2001-2 pp.26-28
- 小寺茂明 (1990) 『英語指導と文法研究』 大修館書店
- (1993) 「入門期における教科書比較」『続々・中学英語教科書の比較研究』 大阪教育大学英語教育講座 pp.73-105
- 小西友七 (1971) 「分詞, 動名詞」『Question Box』 シリーズ 大修館書店 pp.27-38
- 米山朝二・佐野正之 (1998) 「指導技術の改善」『新しい英語化教育法』 大修館書店 pp.160-161
- 佐藤仁 (1983) 「中学校〈英語〉教材研究」『教材研究読本』 教育開発研究所 pp.195-200
- 史兴材 (2007) 「分詞形容詞の働き」『中学英語の友』 中国学術期刊雑誌社 2007-7 pp.13-15
- 清水護・福与正治・若林秀善・中島和 (1986) 「分詞と動名詞」『詳説英文法』 南雲堂 pp.317-318
- 新英語教育編集部 (2001) 「新中学教科書の特徴」『新英語教育』 三友社 2001-7 pp.7-15
- 鈴木寿一 (2006) 「文法指導の基礎、基本」『現代英語教育』 研究社 2006-4 pp.28-29
- 湯泉 (2005) 「英語分詞及びその応用」『市場週刊』 中国学術期刊雑誌社 2005-3 pp.85-89
- 田琴 (2000) 「現在完了形を勉強する時の注意すべきいくつかの問題」『銅仁師専学報』 中国学術期刊雑誌社 pp.38-40
- 高島英幸 (2004) 「コミュニケーション志向の文法説明とタスク活動」『実践的コミュニケーション能力のための英語のタスク活動と文法指導』 大修館書店 pp.104-139
- 谷口賢一郎 (1998) 「教材、指導内容」『英語教育改善へのフィロソフィー』 大修館書店 pp.22-24
- 森住衛 (1980) 「楽しい授業の工夫あれこれ④—文法の説明や練習の例文を考える」『英語教育』 大修館書店 pp.30-31
- (2007) 「中・高の教科書における〈国際英語〉」『英語教育』 大修館書店 pp.44-45
- Breen, M. P., Hird, B., Milton, M., Oliver, R., & Thwaite, A. (2001). Making sense of language teaching: Teachers' principles and classroom practices. *Applied Linguistics*, 22, 470-501.
- Carter, R. A., & Nunan, D. (Eds.). (2001). *Teaching English to speakers of other languages*. Cambridge University Press.